

■ 地方創生：地域幸福度（Well-being）指標活用ファシリテーター始動

デジタル庁の「地域幸福度指標活用ファシリテーター」に登録。

<https://well-being.murc.jp/facilitator/WB07018.pdf>

(登録番号： WB07018)

デジタル庁は 2022 年度から、全国の自治体を対象に地域幸福度（well-being）指標を開発してきました。地域幸福度指標活用とは、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を、

①主観指標（アンケートなど）

②客観指標（オープンデータなど）

の両方を用いて数値化・可視化し、まちづくりの政策立案や効果測定に役立てる活動です。

⇒ 上記、「SDGs 成長経営」「新成長ルル三条」「シナリオプランニング」等と組み合わせることで、産学官連携を含めた「ワークショップ」や「持続的まちづくり立案」に活用できます。

⇒ 相談・問い合わせは、お気軽にメニュー欄の「お問い合わせ」にお願いいたします。

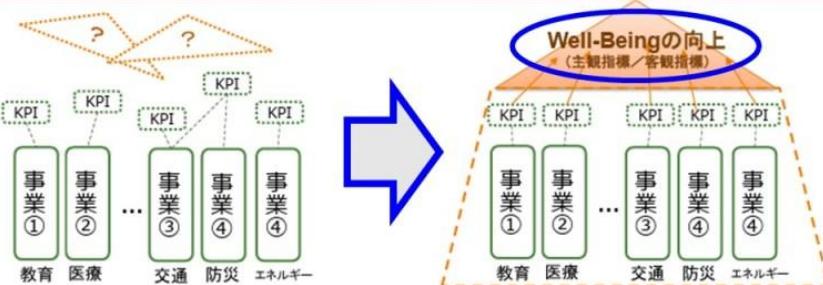
— Well-Being指標の活用 出典：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai7/shiryou5-1.pdf

- デジタルを活用した複数のサービスが、データ連携基盤の上で、一つのまちづくりの共通のゴールに向けて積極的に協力し、各地域で、産官学、市民含め、様々な関係者がともに、Well-Being向上に向けた事業と市民参加の好循環（全体最適を目指したエコシステム）を構築していくことを目指す。

これまでのまちづくりでは、街全体の目指す価値観の明示が不十分であり、目的や取り組みも十分に整合はされていませんでした。

地域のWell-beingの向上にあたり、指標を利用することで、価値観や目的をすり合わせ、それぞれの取り組みの円滑な連携を図ることができます。

出典：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai7/shiryou5-1.pdf



デジタル庁「地域幸福度(Well-being)指標活用ワークショップ

